

2023年**5月2日(火)** **16:00~17:00**

大阪大学(吹田)医学部講義棟 D講堂

新しい生殖医療技術をどのように 医療現場に導入するか？

—着床前胚染色体検査の導入の経緯の検証—

講師: 苛原 稔 徳島大学特命教授

1998年に限られた領域でスタートした着床前検査(PGT)ですが、日本の生殖医療の現場に導入する試みを始めてから、25年が経過しています。2013年からは着床前胚染色体検査(PGT-A)について、日本産科婦人科学会の特別臨床研究が始まり、今年終了します。しかし、保険適応はまだ進んでいません。

本セミナーでは、これらの経緯について講演していただきます。その上で、こうした経緯をどのように検証し、新しい医療技術の導入をどうすべきか。また、誰がそうした活動を責任をもって行うべきか、などについてご参加の皆さんからご意見をお聞きできればと思います。

参加登録: 不要

大学院研究セミナーです。対象者の方は「出席票兼発表内容要旨」をご持参ください。

連絡先: 加藤 和人 (社会医学講座・医の倫理と公共政策学分野)

電話: 06-6879-3688 Email: info@eth.med.osaka-u.ac.jp